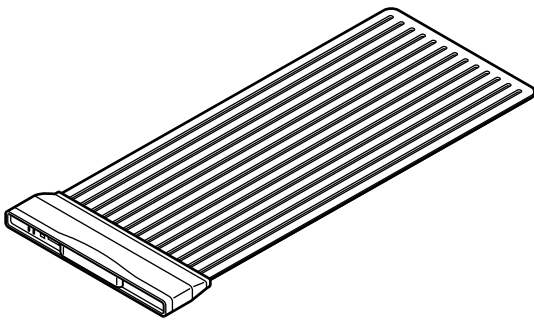


取扱説明書 保証書付

sleepscan

睡眠計スリープスキャン SL-511



- ※ 本機は2人以上やペット等と一緒に休みの場合は測定できません。
- ※ 本機は睡眠障害などの病気の診断をするものではありません。
- ※ 「SL-511設定ソフト」の設定はお使いのパソコン、OSによって画面や名称が異なる場合があります。
- ※ 本書に記載されているイラストはイメージ図です。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

もくじ

ご使用のながれ.....	2
安全上のご注意.....	4
各部の名称/付属品.....	6
通信設定の説明.....	10

WPSによる通信設定.....	11
センサーマットの位置.....	13

測定を行う.....	14
------------	----

「SL-511設定ソフト」の使い方..	17
手動による通信設定.....	18
[ファイル]メニューの説明....	25
機能の設定.....	27

「故障かな?」と思ったら.....	29
-------------------	----

仕様.....	31
---------	----

本機について

準備をする

測定を行う

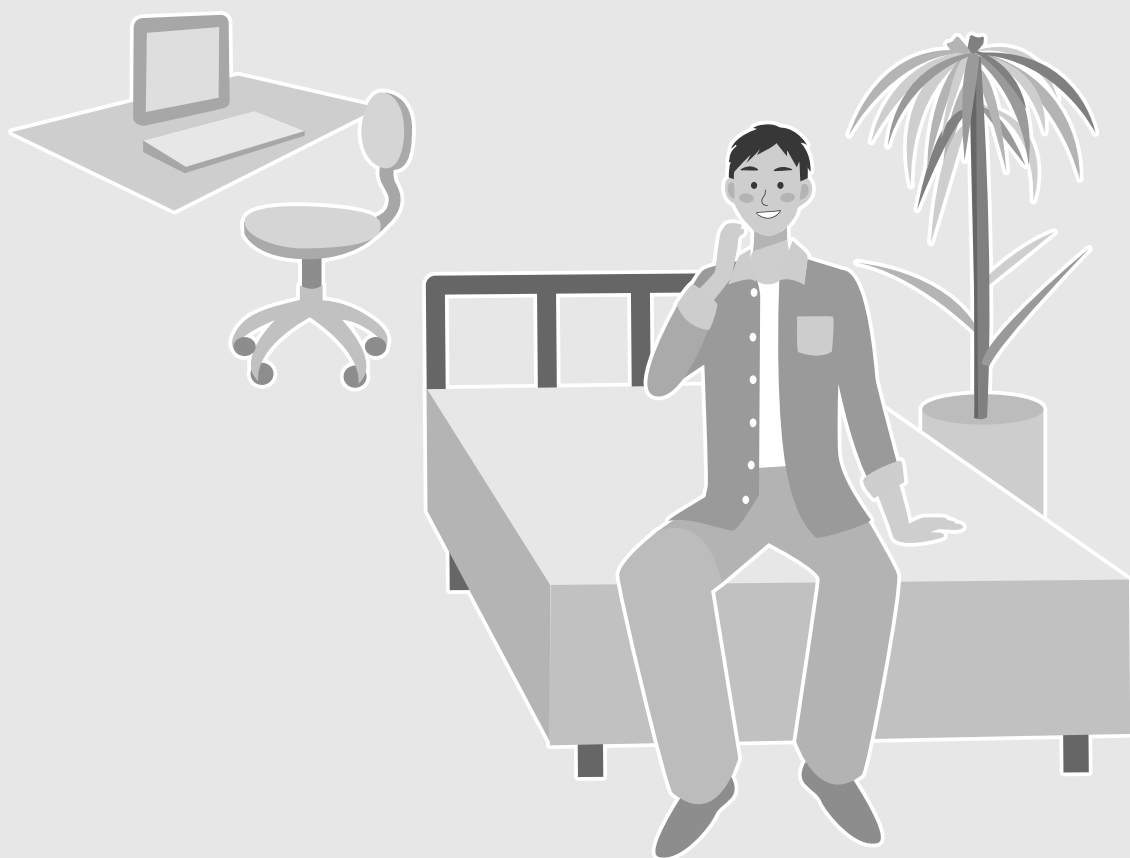
「SL-511設定ソフト」で設定する

故障かな?

仕様

よい睡眠は、健康維持の基本です

人生の約3分の1から4分の1が眠っている時間です。睡眠には疲労回復や体温調節などの大切な役割があり、健康に大きく関係しています。睡眠は量のみならず質も重要といわれ、食事や運動などの日中の活動、体調の良し悪し、疲労やストレスの有無は睡眠の質に影響を与えます。日本では現在、5人に1人が何らかの形で睡眠にかかわる悩みを抱えているといわれています。よい睡眠習慣は日常生活の質（Quality Of Life）を高めることとなりますので、これからはよい睡眠習慣のために睡眠の状態をチェックすることをおすすめします。



ご使用のながれ

このたびは、睡眠計スリープスキャン SL-511 をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ます。

本機は、センサーマットで睡眠中の呼吸、脈拍、体動を測定し、ネットワークを介して「からだカルテ」の専用サーバーに測定データを送信し、解析や記録を行ないます。本機をご使用いただければ、睡眠の状態や傾向の把握など、様々な用途で健康管理に役立てることができます。

準備をする

本機とアクセスポイントの Wi-Fi 通信の設定をし、「からだカルテ」の会員登録を行います。
SD メモリーカードを本機に挿入して電源を入れます。

p.11

ご注意

測定を行なう際は、Wi-Fi の通信環境が必要です。
本機をご使用になる環境に障害物や同じ周波数帯の電波がないように、電波環境を整えてください。

測定を行う

センサーマットを使用して、睡眠中の呼吸、脈拍、体動を測定し、「からだカルテ」のサーバーに測定データを送信します。

p.14

タニタの健康応援ネット「からだカルテ」で確認

参照

タニタがご提供する健康応援ネット「からだカルテ」の登録の詳細については、別紙「からだカルテご利用ガイド」をご参照ください。

本機について

準備をする

測定を行う





「SL-511 設定ソフト」で
設定する



故障かな？



仕様


安全上のご注意

本書では、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本機を安全に正しくご使用ください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生するおそれのある」内容です。
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 必ず守る	「必ず守っていただく」内容です。

 警告		
 禁止	分解や改造は、絶対にしない	感電やけがのおそれがあります。また、精度の保証ができません。
	ぬれた手で、AC アダプターを抜き差ししない	感電や、火災・漏電のおそれがあります。
	タコ足配線をしない	火災のおそれがあります。
	測定結果から、自己判断しない	本機は睡眠障害などの病気の診断をする物ではありません。必ず医師、または資格を持った専門家にご相談ください。
	SD メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない	誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。
	ペースメーカーを使用している人は、本機を使用しない	本機は Wi-Fi 通信を行う際に電波を発生するため、ペースメーカーが誤動作するおそれがあります。

 注意		
 禁止	持ち運ぶときは本機から AC アダプターを外す	破損するおそれがあります。
	電波障害を受けやすい電子機器は本機からの電波障害がないことを確認して使用する	故障や誤作動のおそれがあります。
	本機の隙間や穴に指を入れない	けがをするおそれがあります。
	センサーカバーに衝撃を与えない	破損してけがをするおそれがあります。
	SD メモリーカードは本機の電源が切れている時以外に挿入および取り出しをしない	故障のおそれがあります。

正しい取り扱いのために		
 禁止	測定中に AC アダプターを抜かない	故障のおそれがあります。
	水をかけたりぬれた手で操作しない	故障のおそれがあります。
	先端のとがった物で操作しない	破損や故障のおそれがあります。
	専用の AC アダプター以外は使用しない	故障のおそれがあります。
	センサーマットを折り曲げたり、センサーマットの上で飛び跳ねたり、重いものを落としたりしない	破損や故障のおそれがあります。
	センサーカバーを踏まない	破損や故障のおそれがあります。
	電気敷布団や湯たんぽ等の暖房器具を使用する場合は、センサーマットと直接触れない	故障、変色の原因となるおそれがあります。

安全上のご注意

正確にはかるために

	20℃以上温度差のある場所に移動した場合は、2 時間以上放置してからご使用ください 測定または測定結果に誤差を生じるおそれがあります。
⊘ 禁止	電波を発生する機器の近くでは使用しない 照明器具(インバーター蛍光灯)・医療用機器(マイクロ波治療器)・通信機器(携帯電話) などの一部の機器とは、干渉して誤作動するおそれがありますので、事前にご確認の上ご使用ください。
	振動が多い場所では測定しない 測定または測定結果に誤差を生じるおそれがあります。

精度を保つために

本機は、精密に作られています。最良の状態を保つために、次のことを守り、ご使用ください。

設置について	<p>故障のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる所には置かない ■ 高酸素濃度、可燃性麻酔ガス内には置かない ■ 温度変化の激しい場所には置かない ■ 湿気が多い場所や水気のある所には置かない ■ 振動の激しい所には置かない ■ 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に放置しない <p>⊘ 禁止</p>
取扱いについて	<p>故障のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 絶対に水洗いはしない ■ 過度の衝撃や振動を与えない ■ コード部分を持って AC アダプターの抜き差しはしない <p>⊘ 禁止</p>
保管について	<p>故障のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 振動の激しい所に保管しない ■ 湿気やほこりの多い所に保管しない ■ 保管温度範囲外の場所に保管しない <p>⊘ 禁止</p> <p>⚠ 必ず守る</p> <p>故障のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 長期間使用しない場合は、コンセントから AC アダプターを抜く
お手入れについて	<p>熱湯やベンジン、シンナーなどは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 汚れたときは水または家庭用洗剤を含ませた布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。 ■ 変形や変色のおそれがあります。 <p>⊘ 禁止</p>

廃棄について

⚠ 必ず守る	本機を廃棄するときは、各自治体の廃棄・処理方法に従って捨ててください。
------------------	-------------------------------------

本機について

準備をする

測定を行う

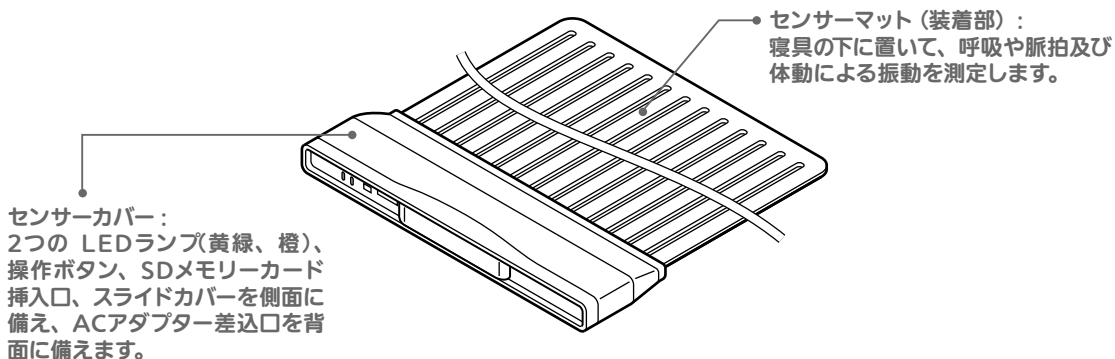
「S111設定ソフト」で
設定する

故障かな?

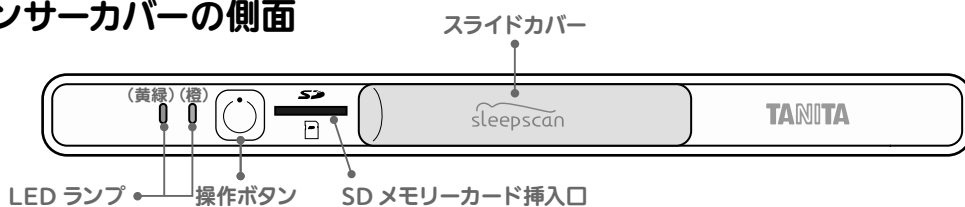
仕様

各部の名称／付属品

●本機



●センサーカバーの側面

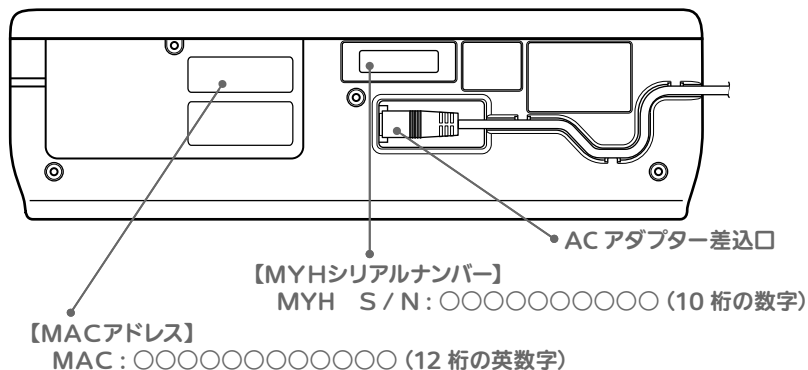


スライドカバーは、以下の4段階でスライドさせることができます。

段階1	スライドカバーを閉じた状態。	
段階2	LEDランプが見えるまでスライドした状態。	
段階3	操作ボタンが見えるまでスライドした状態。	
段階4	スライドカバーを全開にした状態。	

各部の名称／付属品

●センサーカバーの背面



センサーカバーに備わる各部の機能を説明します。

各部の名称	機能
LED ランプ (黄緑、橙)	本機の動作状態に合わせて光ります。 光り方と動作状態の組み合わせを以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ LED ランプ (黄緑) のみ点灯 -- 測定待機状態 ・ LED ランプ (黄緑) が点灯、LED ランプ (橙) が点滅 -- 設定中 ・ LED ランプ (黄緑) と LED ランプ (橙) 共に点灯 -- 測定中 ・ LED ランプ (黄緑) が点灯、LED ランプ (橙) が断続的に速い点滅 -- 通信中 ・ LED ランプ (黄緑) のみ点滅 -- SD メモリーカードのエラー ・ LED ランプ (黄緑) と LED ランプ (橙) 共に点滅 -- 通信のエラー
操作ボタン	設定により、異なる機能を持たせることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 測定開始／終了 (要設定) ・ エラー時のブザーの停止 機能の設定については、27 ページをご参照ください。
SD メモリーカード挿入口	SD メモリーカードを挿入します。
スライドカバー	挿入した SD メモリーカードを保護する、操作ボタンを不用意に押さない、LED ランプがまぶしい場合に遮光するなど、用途に合わせて 4 段階で開閉します。
AC アダプター差込口	AC アダプターを接続します。
MAC アドレス	通信機器に固有で付加される番号です。
MYH シリアルナンバー	本機に固有で付加される番号です。

本機について

準備をする

測定を行う

「S1511設定ソフト」で設定する

故障かな？

仕様

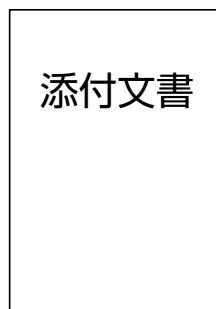
各部の名称／付属品


●付属品

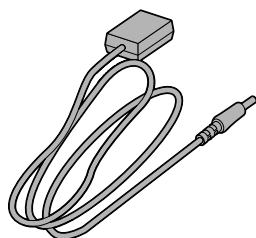
 CHECK! 取扱説明書（本書）保証書付




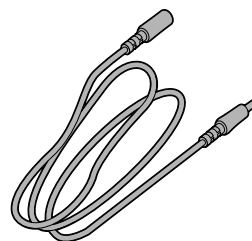
 CHECK! 添付文書



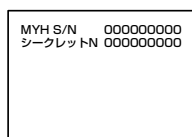
 CHECK! AC アダプター MPU12A-103




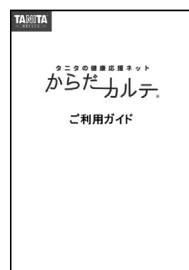
 CHECK! 電源延長ケーブル WB3008811



 CHECK! シリアル情報紙



 CHECK! からだカルテご利用ガイド



シリアル情報紙は「からだカルテ」の登録に必要な情報が記載されています。

内容をご確認いただき、必要な時にはすぐ取り出せるよう、本書と一緒に大切に保管してください。

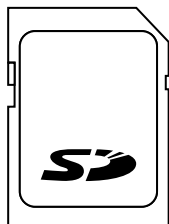
ご注意

- 通電中に AC アダプターから音が聞こえる場合がありますが故障ではありません。AC アダプターの通電音が睡眠の妨げになる場合は、同梱の電源延長ケーブルを使用して、AC アダプターを遠ざけるようにしてください。
- 不足している物がございましたら、弊社お客様サービス相談室（裏表示参照）までご連絡ください。

各部の名称／付属品

□ CHECK! SD メモリーカード

SD メモリーカードには本機を起動する際に必要な「SL-511 設定ソフト」が保存されています。
必ず本機に挿入して測定してください。



SD メモリーカードを取り出す時は、SD メモリーカードを押し込んでから、飛び出した部分をつまんで抜き取ってください。

SD メモリーカードへのデータの保存は、1 時間あたり 0.5MB の容量が必要になります。

SD メモリーカードには、過去 30 日の測定データがフォルダ別に記録されます。31 日目の測定データが記録されると、1 番古い日付の測定データが消去されます。

本機は基本的な通信設定を行うことで、そのままご使用いただけますが、SD メモリーカードに保存されている「SL-511 設定ソフト」を用いることで次にあげる機能の設定を行うことができます。「SL-511 設定ソフト」については、本書 17～28 ページをご参照ください。

- 手動によるアクセスポイントの設定 → 18 ページ参照
※ WPS を利用しないで通信設定を行うときに使います。
- 自動による測定開始／終了の設定・自動終了までの時間の設定 → 27 ページ参照
※ 工場出荷時は自動による測定開始／終了の設定が有効になっています。この機能を無効にすると操作ボタンを押して測定開始／終了を行います。
- タイマーによる測定開始／終了の設定 → 28 ページ参照
- ブザーの設定 → 28 ページ参照



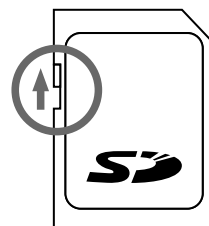
測定・通信に不具合が見られたときは SD メモリーカードに保存されている「SL-511 設定ソフト」もご確認ください。



SD メモリーカードを破損・紛失、または保存されているデータが消失してしまったときは、弊社お客様サービス相談室にご連絡ください。(裏表紙参照)

ご注意

- SD メモリーカードの「LOCK」が解除されていることを確認してからご使用ください。
- SD メモリーカードは本機の電源が切れているときに挿入、または取り出してください。



LOCK を解除

本機について

準備をする

測定を行う

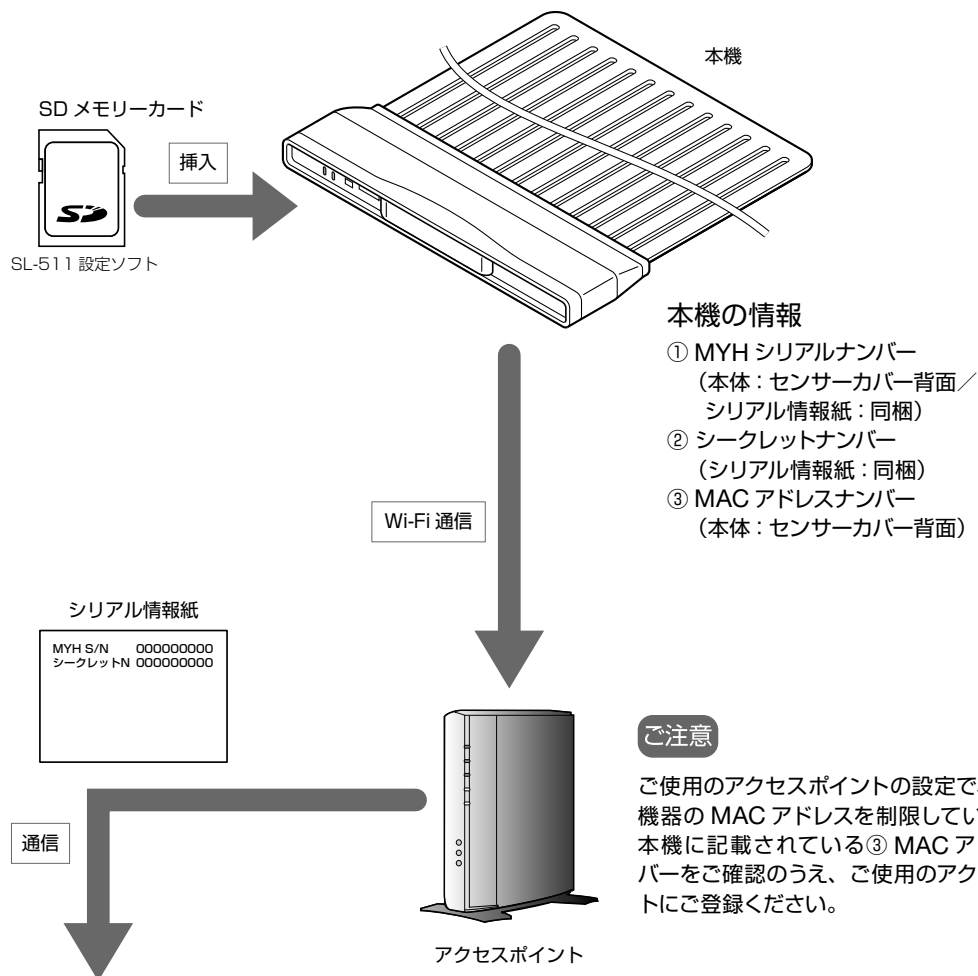
「SL-511 設定ソフト」で設定する

故障かな？

仕様

通信設定の説明

本機をご使用いただくには、本機(睡眠計スリープスキャン SL-511) と通信機器(アクセスポイント) および、サーバー(からだカルテ) の登録が必要です。



ご注意

ご使用のアクセスポイントの設定で、接続する機器の MAC アドレスを制限している場合は、本機に記載されている③ MAC アドレスナンバーをご確認のうえ、ご使用のアクセスポイントにご登録ください。

タニタの健康応援ネット からだカルテ[®]

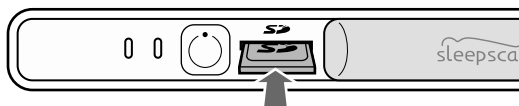
- ① MYH シリアルナンバー
(本体：センサーカバー背面/
シリアル情報紙：同梱)
- ② シークレットナンバー
(シリアル情報紙：同梱)



WPS による通信設定

1. 付属の SD メモリーカードを本体に挿入します。

- スライドカバーをスライドさせて SD メモリーカード挿入口が見えるようにし、SD メモリーカードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入します。



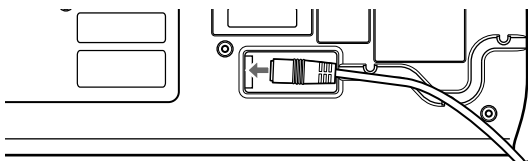
SD メモリーカードを取り出すときは、矢印の方向に押し込んでから、飛び出した部分をつまんで抜き取ってください。

ご注意

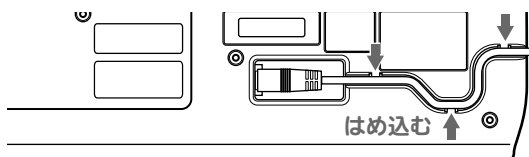
SD メモリーカードは、本機の電源が切れているときに挿入および取り出してください。

2. AC アダプターを接続します。

- AC アダプターのプラグをセンサーカバー背面の AC アダプター差込口に差し込みます。

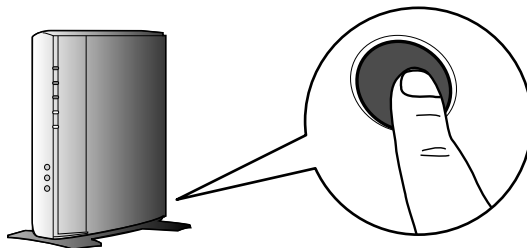


- 溝にコードをはめ込みます。



3. アクセスポイントの通信設定を開始します。

- アクセスポイントの WPS ボタンを押して通信設定が可能な状態にします。



ご注意

スマートフォンなどのテザリングおよびモバイルルーターでの接続は推奨しておりません。対応のルーターはタニタのホームページをご参照ください。
<http://www.tanita.co.jp>

本機について

準備をする

測定を行う

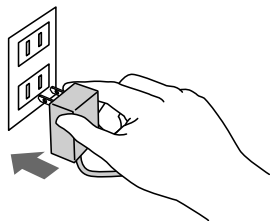
「S1511 設定ソフト」で
設定する

故障かな？

仕様

WPS による通信設定

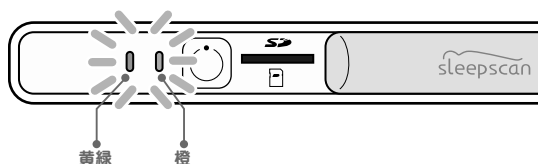
4. AC アダプターをコンセントに接続します。



MEMO コンセントの位置が遠い場合は、同梱の電源延長ケーブルをご使用ください。

電源が入り、自動的に本機がアクセスポイントと通信設定を開始します。

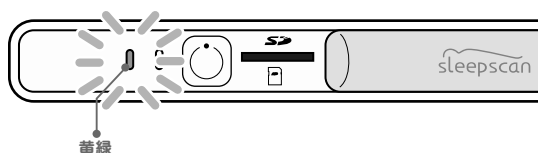
→ アクセスポイントとの通信設定が正しく行われている場合、下図のように LED ランプ（黄緑）の点灯と LED ランプ（橙）の点滅が 30 秒～ 60 秒ほど続きます。



ご注意

ご使用のアクセスポイントとの通信状態により、設定に時間がかかる場合や設定が上手くいかずに失敗する場合があります。設定が上手くいかない場合は、改めて電源を入れるところからやり直してください。

→ LED ランプ（橙）の消灯と共にセンサーマットの設定が完了します。



以上で本機の通信設定は終了となります。

ご注意

- 各メーカーにより、名称が異なる場合があります。詳しくはご使用のアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- アクセスポイントの機種により、WPS 設定ができないものがあります。WPS 設定ができない場合は、手動で通信設定を行います。（→ 18 ページ参照）
- 本機に異常が生じた場合、すみやかに AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- AC アダプターをコンセントに接続する場合、周りに物を置かないでください。

センサーマットの位置

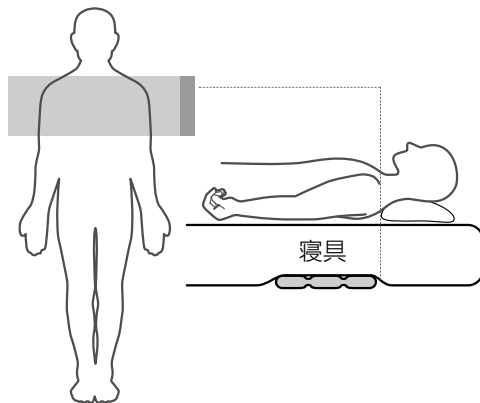
以下の注意事項を読んで正しくご使用ください。

■ センサーマットの使用環境をご確認ください

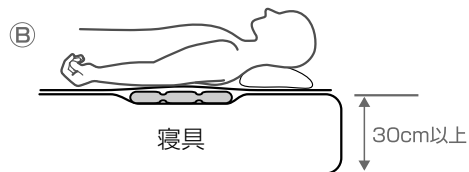
- 開梱直後や収納した後に取り出した際、センサーマットが丸まっていたり、折り目がついている場合がありますが、特に性能に影響するものではありませんので、そのまま伸ばしてご使用ください。
- 寒暖の差が激しい場所に保管した場合や、起床後すぐに丸めて収納した場合などに、表面が結露する場合がありますが、水漏れではありません。
- センサーマットはできるだけ硬い素材の上に敷いてご使用いただくことを推奨します。
- 電気敷布団や湯たんぽなどの暖房器具をご使用の場合は、センサーマットと直接触れないようにしてください。センサーマットが故障、変色のおそれがあります。
- 本機は一人用の測定機器です。ベッドでパートナーや子供、ペットと一緒に寝る場合は、正しい測定ができませんので、ご注意ください。

■ センサーマットの敷く位置をご確認ください

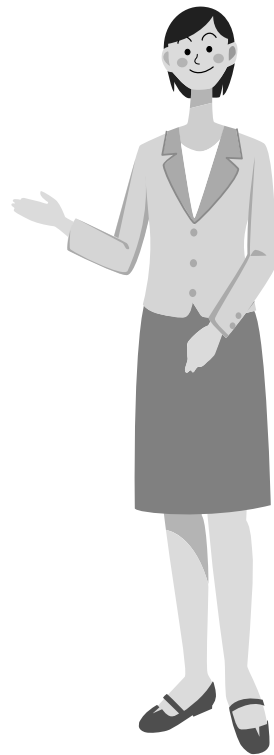
- センサーマットの上辺を肩の位置に合わせてください。
- センサーマットは、下図のように体の上下方向に対して垂直になるように敷いてください。



- 約 30cm 以下の厚さのマットレスや敷布団であれば図①のようにしてご使用ください。マットレスの厚さがそれよりも厚い場合は図②のようにしてご使用ください。



センサーマットの向きは左右関係なく測定可能です。



本機について

準備をする

測定を行う

「S1-R11 設定ソフト」で
設定する

故障かな？

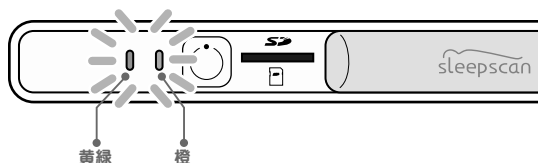
仕様

測定を行う

本機は入床および在床を検知して自動的に測定を開始し、一定時間の不在を検知して自動的に測定を終了します。

1. 使用者が入床すると、測定を開始します。

→入床を検知して一定時間経過後に、測定を開始します。



→LED ランプ（橙）が点灯し、測定が開始されます。



約 30cm 以下の厚さのマットレスや敷布団であれば、ご使用できます。（→ 13 ページ参照）

ご注意

- 毛足の長いじゅうたんや、目の粗いスノコの上では、測定できない場合があります。
- 測定中は、AC アダプターや SD メモリーカードを抜かないでください。データの破損の原因になります。

自動測定開始についての注意点

自動測定開始はご使用いただく方の入床を検知して行ないます。そのため、次に示すことに注意してご使用ください。

- 自動測定開始はヒトの入床を検知することで機能しますが、入床した後に不自然に寝返りなどの大きな身体の動きを繰り返しますと、本来は入床したという信号を環境からの振動であると誤って判定してしまい、入床を検知できない場合があります。
- 自動測定開始した後に読書や携帯端末の操作などをした場合、長いあいだ眠りに入ることができなかったという解析結果になります。



- 設定により、測定を開始した時にブザーを鳴らすことができます。（→ 28 ページ参照）
- 入床を検知するまで、およそ 1～2 分かかる場合があります。

測定を行う

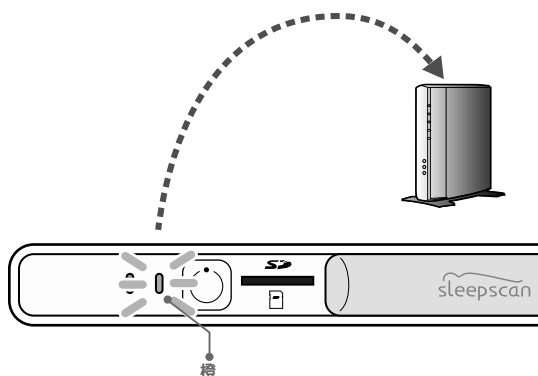
2. 一定時間の不在を検知すると、測定を終了します。

→ 離床を検知して一定時間経過後に測定を終了します。

睡眠中に測定されたデータは一度 SD メモリーカードに保存され、データの送信を行います。


ご注意

- 離床した後に寝具に腰を掛けたり触れていたりすると、離床の検知が正常にできない場合があります。離床した後は、なるべく寝具に触れないようにしてください。
- 測定終了後にデータを送信するため、離床を検知して測定を終了するまでの時間が設定した時間よりも長くなる場合があります。



→ LED ランプ（橙）が断続的に速い点滅を始め、測定データの送信が開始されます。



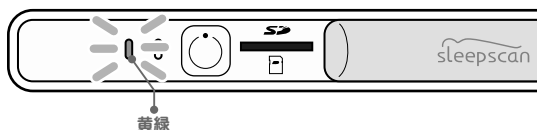
- 設定により、ボタンによる操作やタイマーにより測定開始と終了を操作することができます。（→ 27 ページ参照）
- 設定により、測定が終了する時にブザーを鳴らすことができます。（→ 28 ページ参照）
- 設定により、離床を検知して測定を終了するまでの時間を変更することができます。（→ 27 ページ参照）

ご注意

睡眠中に寝具から大きく外れてしまう場合や長い時間離床される場合、測定が予期せずを終了することがあります。この場合、前後の測定データは別々の睡眠と判断され、それぞれ個別の解析結果となります。

測定を行う

3. 再度、入床を検知するまで、測定待機状態となります。



→測定データの送信が完了するとLEDランプ（橙）が消灯し、LEDランプ（黄緑）が点灯して測定待機状態になります。



送信が中断されたデータは、次回の測定待機状態で通信可能な場合に、送信が再開されます。

ご注意

- 通信状態が不安定な場合、測定データの送信に時間がかかることがあります。
- 測定データの送信が中断されると、測定待機状態になります。しばらくした後、未送信の測定データの再送信を行い、送信が完了するまで繰り返します。
- データ送信中は測定を開始しませんので、データ送信が完了もしくは中断しているときに入床してください。
- 測定データの送信中に、ご使用のアクセスポイントの電源が切れるなどの不具合が生じた場合、送信が中断されることがあります。

「SL-511 設定ソフト」の使い方

ご使用になる前に、パソコンの動作環境を確認してください。

最新情報はタニタのホームページをご参照ください。

<http://www.tanita.co.jp>

「SL-511 設定ソフト」を用いて、次にあげる機能の設定を行うことができます。

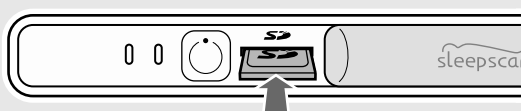
機能を設定する

- 手動によるアクセスポイントの設定 → 18 ページ参照
※ WPS を利用しないで通信設定を行うときに使います。
- 自動による測定開始/終了の設定・自動終了までの時間の設定 → 27 ページ参照
※ 工場出荷時は自動による測定開始/終了の設定が有効になっています。この機能を無効にすると操作ボタンを押して測定開始/終了を行います。
- タイマーによる測定開始/終了の設定 → 28 ページ参照
- ブザーの設定 → 28 ページ参照

SL-511 設定ソフトを起動します。

「SL-511 設定ソフト」は付属の SD メモリーカードを使って起動します。

- ➔ 付属の SD メモリーカードをセンサーカバーから取り出して、パソコンに接続してください。



SD メモリーカードを取り出す時は、矢印の方向に押し込んでから、飛び出した部分をつまんで抜き取ってください。

SD メモリーカードへのデータの保存は、1 時間あたり 0.5MB の容量が必要になります。

SD メモリーカードには、過去 30 日の測定データがフォルダ別に記録されます。31 日目の測定データが記録されると、1 番古い日付の測定データが消去されます。

ご注意

- SD メモリーカードの「LOCK」が解除されていることを確認してからご使用ください。
- SD メモリーカードは本機の電源が切れていることを確認してから取り出してください。
- パソコンにリムーバブルディスクが複数接続されている場合、SD メモリーカード以外のリムーバブルディスクを全て外してください。

- ➔ SD メモリーカードのフォルダ内の「SL-511 設定ソフト」をクリックすると、各設定項目が設定ファイルの内容を反映した状態で設定ウィザードのスタート画面に移行されます。



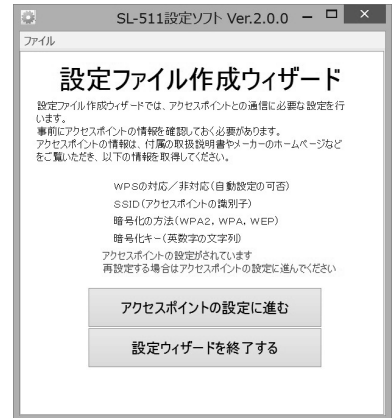
SL-511 設定ソフト

手動による通信設定

1. 「設定ファイル作成ウィザード」を起動します。

- ➔ SL-511 設定ソフトを起動すると、設定ファイル作成ウィザードのスタート画面が表示されます。

「アクセスポイントの設定に進む」をクリックすると、「アクセスポイントの設定」画面が表示されます。

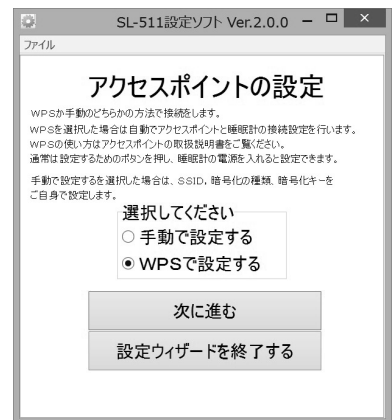


- ➔ ご使用のアクセスポイントのセキュリティ情報である SSID と暗号化キーを「WPS で設定する」か「手動で設定する」を選択します。

ご使用のアクセスポイントが WPS に対応している場合、「WPS で設定する」を選択します。ご使用のアクセスポイントが WPS に対応していない、もしくは WPS を使用せずに手動で設定を行なう場合、「手動で設定する」を選択します。



設定ウィザードでの設定を中断する場合は [設定ウィザードを終了する] をクリックすると、設定ウィザードを終了する画面が表示されます。

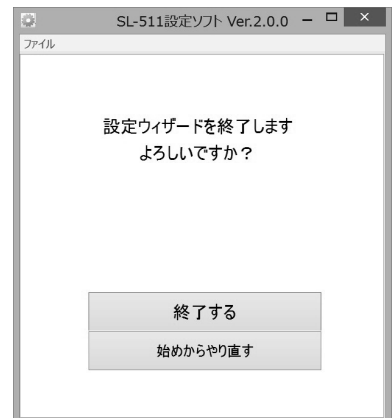


- ➔ 「WPS で設定する」を選択して [次に進む] をクリックすると、設定ウィザードを終了する画面が表示されます。

設定内容に変更がなければ [終了する] をクリックして設定ウィザードを終了します。



設定をやり直す場合は [始めからやり直す] をクリックし、設定ウィザードのスタート画面を表示します。



手動による通信設定

2. 手動によるアクセスポイントの設定をします。

→「手動で設定する」を選択して「次に進む」をクリックすると、「SSID の設定」画面が表示されます。

ご使用のアクセスポイントで設定されている SSID を入力します。



設定の方法を変更する場合は [設定の方法の選択に戻る] をクリックすると、「アクセスポイントの設定」画面が表示されます。



SSID はアクセスポイント本体や取扱説明書に記載がありますが、機種によってはパソコンから確認するものがあります。確認方法の詳細については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

SSID を入力して [暗号化の方法の選択に進む] をクリックすると、「暗号化の方法の選択」画面が表示されます。

→「WPA2」、 「WPA」、 「WEP」の中から、ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化の方法を選択します。

アクセスポイントの通信設定を新規で行なう場合、ご使用になるアクセスポイントで選択可能な暗号化の方法を選択します。



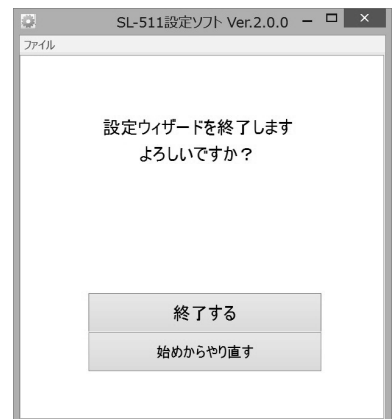
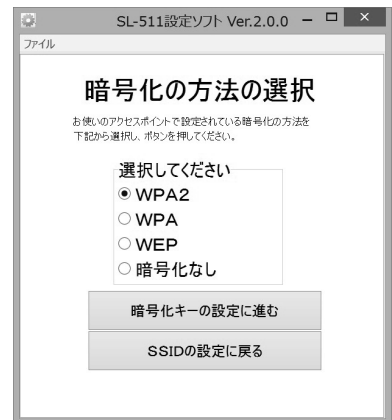
SSID の変更をする場合は [SSID の設定に戻る] をクリックすると、「SSID の設定」画面が表示されます。

→「暗号化なし」を選択して [暗号化キーの設定に進む] をクリックすると、設定ウィザードを終了する画面が表示されます。

設定内容に変更がなければ [終了する] をクリックして設定ウィザードを終了します。



設定をやり直す場合は [始めからやり直す] をクリックすると、設定ウィザードのスタート画面が表示されます。



本機について

準備をする

測定を行う

「SL-511 設定ソフト」で
設定する

故障かな?

仕様

手動による通信設定

暗号化キーの設定は選択した暗号化の方法により異なります。それぞれの場合に応じてお読みください。

→ 「WPA2」 もしくは 「WPA」 を選択した場合

「WPA2」 もしくは 「WPA」 を選択して [暗号化キーの設定に進む] をクリックすると、「暗号化キーの設定」画面が表示されます。

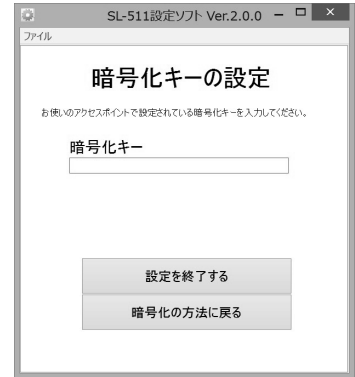
ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化キーを入力します。



暗号化の方法を変更する場合は [暗号化の方法に戻る] をクリックすると、「暗号化の方法の選択」画面が表示されます。



暗号化キーの確認方法については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

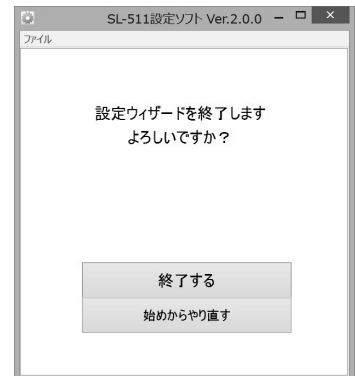


→ 暗号化キーを入力して [設定を終了する] をクリックすると、設定ウィザードを終了する画面が表示されます。

設定内容に変更がなければ [終了する] をクリックして設定ウィザードを終了します。



設定をやり直す場合は [始めからやり直す] をクリックすると、設定ウィザードのスタート画面が表示されます。



→ 「WEP」 を選択した場合

「WEP」 を選択して [暗号化キーの設定に進む] をクリックすると、「1～4のキーから選択」画面が表示されます。

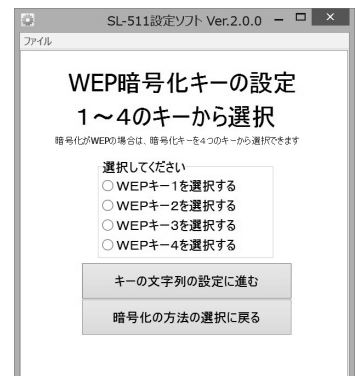
ご使用のアクセスポイントで設定されている WEP キーのナンバーを 1～4 の中から選択します。

暗号化の方法を変更する場合は [暗号化の方法の選択に戻る] をクリックし、「暗号化の方法の選択」画面を表示します。



本書ではキーナンバーを WEP キー 1～4 と表記しておりますが、アクセスポイントの機種によっては表記が異なるものがあります。

暗号化キーの確認方法については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

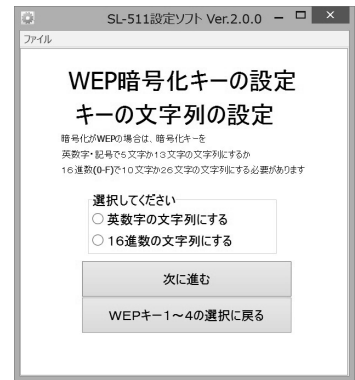


手動による通信設定

WEP キーのナンバーを選択して [キーの文字列の設定に進む] をクリックすると、「キーの文字列の設定」画面が表示されます。

➡ ご使用のアクセスポイントに設定されている暗号化キーの文字列の種類を選択します。ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化キーが、以下の 1) ~ 4) のいずれの種類であるかを確認してください。

- 1) 64bit : 5 桁の英数字と記号 (半角)
- 2) 64bit : 10 桁の 16 進数による英数字 (半角 : 0 ~ 9、A ~ F、a ~ f)
- 3) 128bit : 13 桁の英数字と記号 (半角)
- 4) 128bit : 26 桁の 16 進数による英数字 (半角 : 0 ~ 9、A ~ F、a ~ f)



ご注意

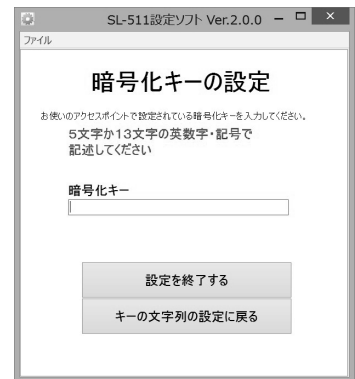
本機は 152bit の暗号化キーには対応していません。

➡ ご使用のアクセスポイントの暗号化キーが、1) または 3) であれば「英数字の文字列にする」を選択し、2) または 4) であれば「16 進数の文字列にする」を選択します。



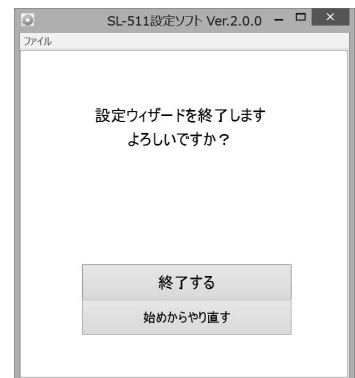
WEP キーのナンバーを変更する場合は [WEP キー 1 ~ 4 の選択に戻る] をクリックすると、「1 ~ 4 のキーから選択」画面が表示されます。

➡ キーの文字列の種類を選択して [次に進む] をクリックすると、「暗号化キーの設定」画面が表示されます。(※右に示すのは 1) または 3) を選択した場合の画面) ご使用のアクセスポイントに設定されている暗号化キーを入力します。



暗号化キーの文字列の種類を変更する場合は [キーの文字列の設定に戻る] をクリックすると、「キーの文字列の設定」画面が表示されます。暗号化キーの確認方法については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

➡ 暗号化キーを入力して [設定を終了する] をクリックすると、設定ウィザードを終了する画面が表示されます。設定内容に変更がなければ [終了する] をクリックして設定ウィザードを終了します。



設定をやり直す場合は [始めからやり直す] をクリックすると、設定ウィザードのスタート画面が表示されます。設定ウィザードを終了すると、設定した内容を反映した状態で「アクセスポイント情報」画面が表示されます。「アクセスポイント情報」画面が表示されたら、[保存して閉じる] をクリックして、終了してください。

本機について

準備をする

測定を行う

「SLI511設定ソフト」で設定する

故障かな?

仕様

手動による通信設定

3. 直接入力でアクセスポイントを設定します。

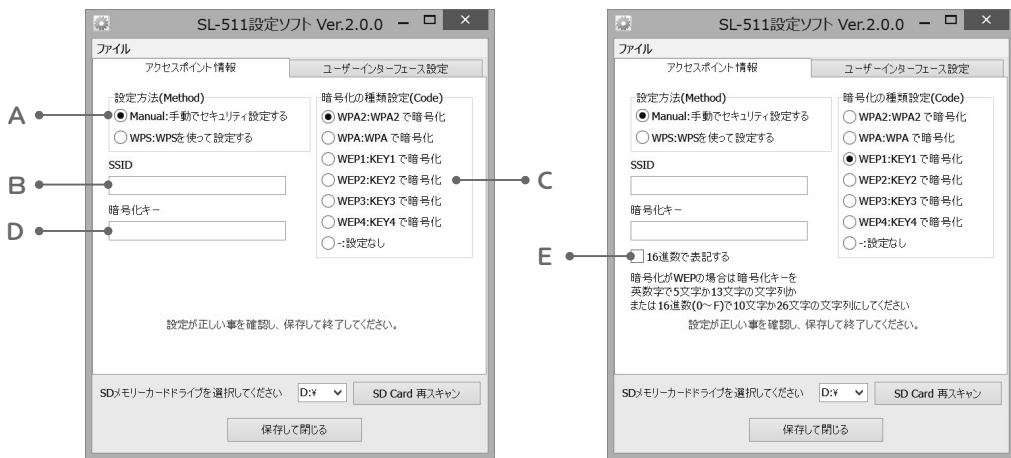
- ➔SDメモリーカードが接続されていて、「アクセスポイント情報」のタグをクリックすると、「アクセスポイント情報」画面が表示されます。

ご注意

パソコンにリムーバブルディスクが複数接続されている場合、SDメモリーカード以外のリムーバブルディスクを全て外してください。



「アクセスポイント情報」画面では、最少限の設定で、ご使用のアクセスポイントの通信設定を行うことができます。設定ウィザードによる設定のあとにこの画面を表示した場合は、「アクセスポイント情報」画面の各項目に設定内容が反映された状態で表示されます。



① アクセスポイント情報の設定

各項目の内容について

A. 設定方法 (Method)

セキュリティ情報を手動で設定するか、WPS を使って自動で設定するかを選択します。ご使用のアクセスポイントが WPS に対応している場合は「WPS」を選択します。この場合、B 以下の設定をする必要はありません。

ご使用のアクセスポイントが WPS に対応していない、もしくは WPS を使用せずに手動で設定を行なう場合は「Manual」を選択し、B 以下の項目に必要な情報を入力します。

B. SSID の設定

ご使用のアクセスポイントで設定されている SSID を入力します。



SSID の確認方法については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

手動による通信設定

C. 暗号化の種類設定 (Code)

ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化の種類を選択します。



- 暗号化の種類は WPA2、WPA、WEP、暗号化なし (設定なし) から選択できます。なお、WEP の場合は、さらに 4 つのキー (WEP1、WEP2、WEP3、WEP4) のどれを使うかを、ご使用のアクセスポイントの設定に合わせて選択します。
- 暗号化の種類の確認方法については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

D. 暗号化キーの設定

ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化キーを入力します。

ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化の種類が WPA、WPA2 の場合は、ご使用のアクセスポイントで確認した暗号化キーを入力します。

ご使用のアクセスポイントで設定されている暗号化キーの種類が WEP の場合、次に示す種類の暗号化キーが設定されています。

- 1) 64bit : 5 桁の英数字 (半角)
- 2) 64bit : 10 桁の 16 進数による英数字 (半角 0 ~ 9、A ~ F、a ~ f)
- 3) 128bit : 13 桁の英数字 (半角)
- 4) 128bit : 26 桁の 16 進数による英数字 (半角 0 ~ 9、A ~ F、a ~ f)

ご使用のアクセスポイントで確認した暗号化キーが 1) もしくは 3) の場合、ご使用のアクセスポイントで確認した暗号化キーを入力します。

ご使用のアクセスポイントで確認した暗号化キーが 2) もしくは 4) の場合、暗号化キーの入力欄下部にある「16 進数で表記する」のチェックボックス (「E」にて図示) にチェックを入れた後、ご使用のアクセスポイントで確認した暗号化キーを入力します。

C. 暗号化の種類 (Code) で「暗号化なし」を選択する場合は、入力する必要はありません。



暗号化キーの確認方法については、アクセスポイントの取扱説明書や各メーカーのホームページを確認してください。

手動による通信設定

② 保存して終了

「①アクセスポイント情報の設定」が完了したら、設定画面下部の [保存して閉じる] をクリックします。

- ➔ 設定ファイルが自動的に更新され、SL-511 設定ソフトが終了します。
(※ SD メモリーカードに規定のフォルダ構造が構築され、所定の場所に設定ファイルが保存されている場合に限る)



規定のフォルダ構造については本書 26 ページをご参照ください。

[ファイル]メニューの説明

4. [ファイル]メニューの説明

メニューバーの [ファイル] をクリックすると、機能メニューが確認できます。それぞれの機能から以下の設定ができます。

ご注意

パソコンにリムーバブルディスクが複数接続されている場合、SDメモリーカード以外のリムーバブルディスクを全て外してください。

① デフォルト設定

「ファイル」メニューから「デフォルト設定」を選択します。「ユーザーインターフェース設定」(→ 27 ページ参照) で入力した内容がリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

② 保存

SDメモリーカードがパソコンに接続された状態で、「ファイル」メニューから「保存」を選択します。規定のフォルダ構造内に設定ファイルがある場合は上書き保存を確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックすると、設定ファイルが規定のフォルダ構造内に保存されます。



[キャンセル] をクリックすると、設定画面に戻ります。



規定のフォルダ構造については本書 26 ページをご参照ください。

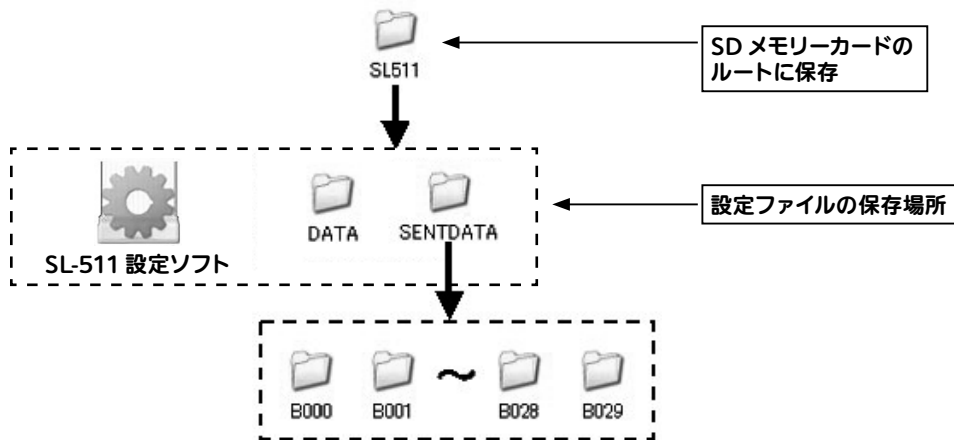
[ファイル]メニューの説明

③ フォルダ構造初期化

SDメモリーカードがパソコンに接続されている状態で、「ファイル」メニューから「フォルダ構造初期化」を選択します。このメニューを選択すると、SDメモリーカードの規定のフォルダ構造およびその中の設定ファイルを消去して、新たに作成します。初期化が完了するとSDメモリーカード内に以下のフォルダが作成されます。

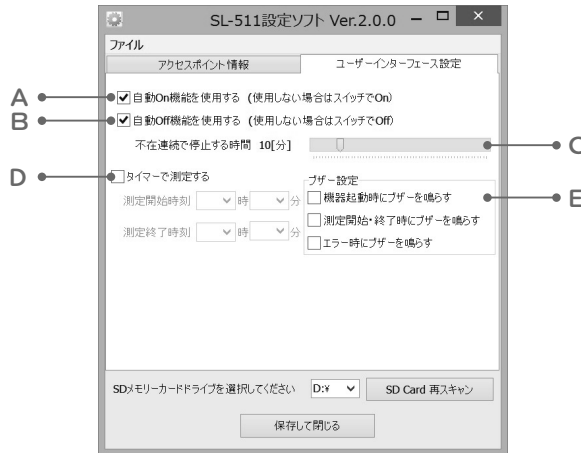
ご注意

メニューの[フォルダ構造初期化]を選択すると、“SL-511”フォルダ内にあるファイルは全て削除されます。フォルダの内容をご確認のうえ、このメニューを選択するようにしてください。



5. 機能の設定

「ユーザーインターフェース設定」は自動による測定開始／終了の ON / OFF やスイッチの機能、ブザー ON / OFF を設定します。



① 自動による測定開始／終了の設定

A 「自動 On 機能を使用する」の設定

入床および在床を検知して、自動的に測定を開始する機能です。
自動 On 機能を使用しない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。



工場出荷時は「自動 On 機能を使用する」の設定が有効になっています。この機能を無効にすると操作ボタンで測定を開始します。

B 「自動 Off 機能を使用する」の設定

一定時間の不在を検知して、自動的に測定を終了する機能です。
自動 Off 機能を使用しない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。



工場出荷時は「自動 Off 機能を使用する」の設定が有効になっています。この機能を無効にすると操作ボタンを 3 秒間長押しして測定を終了します。

C 「不在連続で停止する時間」の設定

スライダーで時間を設定してください。1～60分まで1分単位で設定できます。



工場出荷時は「10[分]」になっています。



自動 Off 機能を使用したときの、不在連続で停止するまでの時間の設定です。
夜間一時的にトイレなどで離床する場合、測定を継続できる様、個別に時間を設定できるようにしています。

② タイマーによる測定開始／終了の設定

D 「タイマーで測定する」の設定

タイマーで自動的に測定を開始・終了する機能です。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを付けて、測定開始時間と測定終了時間を設定してください。10分単位で設定できます。



「タイマーで測定する」を使用すると、①の「自動 On/Off 機能を使用する」の設定は機能しません。

③ ブザーの設定

E 「ブザー設定」

●「機器起動時のブザーを鳴らす」の設定

機器が起動するとき、動作に合わせてブザーを鳴らす機能です。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを付けてください。

電源 ON (SDメモリーカードの設定ファイルの読み込み完了)	ピッピッ
本体起動	ピ
アクセスポイント接続終了	ピッピッピ
タイムサーバーから時間取得完了	ピピ
解析サーバーと接続完了	ピピピ

●「測定開始・終了時にブザーを鳴らす」の設定

測定開始時、測定終了時にブザーを鳴らす機能です。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを付けてください。

測定開始	ピ
測定終了	ピピ

●「エラー時にブザーを鳴らす」の設定

通信エラーや、SDメモリーカードが抜けていたり破損しているときにブザーを鳴らす機能です。この機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを付けてください。

通信エラー	ピピピピピ
SDメモリーカードが抜けている、破損している	ピピ



工場出荷時は「ブザーの設定」は機能しない状態になっていますが、必要に応じて設定を変えることができます。

「故障かな？」と思ったら

症状	ご確認ください	参照先
電源を入れても、LED ランプ（黄緑）が点灯しない	<input type="checkbox"/> 電源が入っていません。 ・ AC アダプターが正しく接続されているか、ご確認ください。	11・12 ページ
電源を入れると、LED ランプ（黄緑）が点滅する	<input type="checkbox"/> SD メモリーカードを認識していません。 ・ SD メモリーカードが正しく挿入されているか、ご確認ください。 <input type="checkbox"/> SD メモリーカードの設定ファイルを認識していません。 ・ 設定ファイルが規定の場所にあるか、設定ファイルが壊れていないか、ご確認ください。 <input type="checkbox"/> SD メモリーカードに何らかの異常がある。 ・ SD メモリーカードの LOCK（ロック）が解除されているか、ご確認ください。 ・ SD メモリーカードの空き容量が不足していないか、ご確認ください。 ・ SD メモリーカードに所定のフォルダ構造が構築されているか、ご確認ください。 ・ SD メモリーカードが壊れていないか、ご確認ください。	11 ページ 25・26 ページ 9 ページ 9 ページ 25・26 ページ 9 ページ
LED ランプ（黄緑）と LED ランプ（橙）が同時に点滅する	<input type="checkbox"/> 通信が確立できません。 ・ SD メモリーカードの設定で通信先の情報に誤りがないか、ご確認ください。 ・ アクセスポイントやモデムの電源や設定をご確認ください。 <input type="checkbox"/> 測定機器が正しく登録されていない。 ・ 本機がサーバー（からだカルテ）に正しく登録されているか、ご確認ください。	18 ページ 11 ページ 別紙「からだカルテご利用ガイド」
入床しても測定が開始しない	<input type="checkbox"/> 入床を正しく検知できません ・ 入床した後に、不自然に寝返りなどを繰り返していないか、ご確認ください。 <input type="checkbox"/> 設定ファイルが正しく設定されていない。 ・ 設定ファイルの設定で、自動測定開始の機能が有効になっているかをご確認ください。	14 ページ 27 ページ

本機について

準備をする

測定を行う

「S111設定ソフト」で設定する

故障かな？

仕様

「故障かな？」と思ったら

症状	ご確認ください	参照先
離床しても測定が終了しない	<input type="checkbox"/> 離床を正しく検知できません。 <ul style="list-style-type: none">• ご使用の環境で振動を発生するものがない、ご確認ください。• 離床した後に寝具に腰を掛けたり触れるなどしていないか、ご確認ください。 <input type="checkbox"/> 設定ファイルが正しく設定されていない。 <ul style="list-style-type: none">• 設定ファイルの設定で、自動測定終了の機能が有効になっているかをご確認ください。	5 ページ 15 ページ 27 ページ
測定データの送信に時間がかかる 測定データが送信されない	<input type="checkbox"/> 通信状態が不安定になっています。 <ul style="list-style-type: none">• ご使用の通信環境が不安定になっていないか、ご確認ください。• 測定データの送信中にご使用のアクセスポイントの電源が切れるなど、通信が途絶するような状況になっていないか、ご確認ください。	16 ページ 16 ページ



設定により、エラーが発生した時にブザーを鳴らすことができます。

ご注意

- 通電中に AC アダプターから音が聞こえる場合がありますが故障ではありません。AC アダプターの通電音が睡眠の妨げになる場合は、同梱の電源延長ケーブルを使用して、AC アダプターを遠ざけるようにしてください。
- 本機に異常が生じた場合、すみやかに AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- AC アダプターをコンセントに接続する場合、周りに物を置かないでください。
- 設置された環境により通信しにくい場合がございますので、うまく繋がらない場合は電源を入れなおすなどして、最初から通信の設定を試みてください。
- SD メモリーカードは本機の電源が切れているときに挿入、または取り出してください。
- SD メモリーカードが破損・紛失、または保存されているデータが消失してしまったときは、弊社お客様サービス相談室にご連絡ください。(裏表紙参照)
- 上記以外の不具合が見られたときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。(裏表示参照)













類別		機械器具 21 内臓機能検査用器具
名称	一般的名称	体動センサ
	販売名	睡眠計スリープスキャン SL-511
クラス分類		クラス I (一般医療機器)
電撃に対する保護の形式		クラス II
電撃に対する保護の程度		B 形装着部
医療機器届出番号		05B1X00001000003
寸法及び質量		約 幅 866mm×高さ 27mm×奥行き 316mm 約 1.4kg
センサーの機構		コンデンサマイクロフォン式
センサーマット内容物		精製水 (防腐剤添加) 500mL
信号方式		圧力変化検知機構
検出記号	周波数帯域	0.5Hz ~
	サンプリング周波数	16Hz
連続測定時間		24 時間
使用温湿度範囲		5℃~35℃ 5%~80%RH
使用気圧高度範囲		86kPa~106kPa 海拔 2,000m
保管・輸送温湿度範囲		0℃~60℃ 0%~80%RH
記録メディア		SD メモリーカード
定格電圧 / 電流 (本体)		DC7V / 1.7A
定格電圧 / 電流 (付属 AC アダプター)		AC100V 50~60Hz / 0.29A (センタープラス)
消費電力量		0.28Wh 以下

無線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE802.11b
データ転送速度	1, 2, 5.5, 11Mbps
セキュリティ	WEP, WPA/WPA2 personal
接続方法	WPS 対応
チャンネル	1 ~ 14
周波数範囲	2.4 ~ 2.497 GHz

本機は、IEC60601-1:2005 + Amd.1:2012 に適合しています。
※ デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

記号について

	警告・注意	
	取扱説明書 (本書) 参照	
	B 形装着部	電撃に対する保護の程度による装着部の分類を示したもの
	直流	
	交流	
	センタープラス	電源の出力における極性を表示したもの
	クラス II 機器	電撃に対する保護の形式を示したもの (電撃に対する保護を基礎絶縁だけに依存せず、二重絶縁または強化絶縁のような追加安全策を備えることによって、保護設置の手段を持たず設置の条件に依存しない機器)
	UL マーク	Underwriter's Laboratories Incorporated が作成した安全規格に適合した商品に表示されるマーク
	屋内使用	
	WEEE マーク	電気・電子機器廃棄物指令に対応した商品に表示されるマーク
	PSE マーク	電気用品安全法に適合した商品に表示されるマーク
	CE マーク	ヨーロッパ連合 (EU) 地域で販売される指定商品に貼付を義務づけられている安全マーク

本機について

準備をする

測定を行う

「S」シリーズ設定ソフトで
設定する

故障かな?

仕様

無料修理規定

- 取扱説明書などの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡の上、本機と保証書をお送りください。
 - ご贈答品などで保証書に必要事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
 - 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ日の年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 - 保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

保証書

販売店様へ
ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、販売店様欄に捺印）をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ
本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。
※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき、責任を持って管理いたします。

品名	睡眠計スリープスキャン SL-511		
保証期間	お買い上げ日より 1年		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所		
	お名前		様
	電話	()	
販売店	ご住所・店名		
	電話	()	印

アフターサービスについて

- 保証書について
保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 修理を依頼されるとき
 - 保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上、本機に保証書を添えてお送りください。
 - 保証期間が過ぎていた場合は、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本機の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

発売元

株式会社 **TANITA**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
 タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリーダイヤル **0120-133821**
携帯電話からはフリーダイヤルに繋がりません。
 携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル **0570-783551**
通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～18:00 (祝日を除く月～金)

製造販売元

株式会社 **TANITA** 秋田

〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1 ☎0187(66)2122(代表)

SL5117601(0)-1703MA